

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑フォールド明和		
○保護者評価実施期間	2025年1月27日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月22日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの個性にあわせた活動ができています。	活動によってグループわけを行い、活動の目的や人数の調整、職員の配置等、細やかに打ち合わせを行っている。 得意なことや不得意なことを十分に把握したうえで、楽しく参加できるような工夫をしている。	ピアノの音に合わせて身体を動かしたり、手話を取り入れて表現力を養えるような新しい活動に取り組んでいく。
2	活動等のスペースが十分に確保されている。 (駐車場スペースもある程度確保できるので、夏祭りなどのイベント等も開催しやすい)	子どもが活動中に気にしてしまうような物は置かないよう配慮している。 サーキットや体操、ダンスなど、のびのびと思い切り身体全体を使った運動遊びを行っている。	適切なスペースは確保できてはいるが、パーテーション等を配置して、個別で過ごせる環境を整える。 新しい道具も取り入れていく。
3	日頃からこどもの状況を伝え合い、振り返りを欠かさないことで、ヒヤリハットや事故を未然に防いでいる。	毎日必ず朝礼と昼礼を実施して、あらゆることを想定した話し合いを行い、共通の認識を高めている。	外部(保護者や学校など)と情報共有等の連携を強化して、環境整備を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ブログやお便りなどの発信ができていない。	SNS(公式ライン)を通して当日の様子は伝えられているが、定期的なまとまった発信が滞っている。	役割分担や協体制を整備してスピード感をもって出来るようにする。
2	職員の配置数が十分とはいき切れない。	ご利用者様に対して十分な支援ができるよう、余裕のある職員数を配置できるようにする。	職員数を増やすとともに、研修やミーティング等で職員一人ひとりのスキルアップをはかっていく。
3	放課後等デイサービスとしての保護者会が実施できていない。	保護者会の内容について案を検討しきれていない。	保護者の参加しやすい曜日や内容について、アンケートをとり、気軽に参加しやすい雰囲気のある保護者会を計画する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		縁フォールド明和			公表日	2025年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		適切なスペースは確保できているので、パーティション等を設置して個別で過ごせる環境を整えます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		職員の急なお休みがあったときに困らないような体制を強化します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		訓練室の視覚的な情報が多すぎないように改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	都度、活動に合うように環境設定を工夫しています。また、アルコール消毒や掃除を徹底して行っていますが、より心地よく過ごせるように整えていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		深掘りした振り返りを実施して改善に活かします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の朝礼昼礼のほか、定期的にミーティングや職員会議を開催して職員の意見を把握したり交換したりしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	会議を開催したり打ち合わせの時間を使用して、子ども一人ひとりの個性を把握、共有や検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		計画について、より時間をかけて共有していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	計画の段階で固定化しないように工夫しています。	

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	活動内容や想定されること、役割やリスクマネジメント等について、毎日必ず、朝礼昼礼で確認し、チームで連携した支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	前日の支援の振り返りを必ず朝礼で行い、声かけや関わり方の改善に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		関係機関との連携を強化していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	子どもの日々の様子や学習の進捗状況等についても共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		地域の公園・児童館遊びの際に触れ合う機会がありますが、より増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		保護者会やイベントに限らず、ご家族が参加できる情報提供の機会を設けていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	面談やモニタリングの時間を充分にとり、心配事や困りごとの相談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域の児童や大人の参加を募り、夏祭りを開催し、交流を深めました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	保護者様から伺った内容を共有し、誤飲誤食の無いように、しっかりと対応しています。	医師からの指示書が無い場合もあるので、受け取れるようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		SNS等を活用して事前周知を徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日必ず行う振り返りミーティング中で、ヒヤリハットについての共有と対策を検討しています。また、ヒヤリハットが無かったときは、様々な事案を想定した事前の準備や職員の連携が取れていたことも共有しています。	ヒヤリハットから事故につながるケースが多いので充分に対策を講じます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			